

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：クレーナーサリー新百合ヶ丘	種別：認可保育所
代表者氏名：郡 智美	定員（利用人数）：60名
所在地：〒215-0021 川崎市麻生区上麻生3-1-2	
TEL：044-322-9251	
ホームページ： https://www.alpha-co.com/nursery/nursery-school/yurigaoka	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2014年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社アルファコーポレーション	
職員数	常勤職員：15名 非常勤職員：8名
専門職員	（専門職の名称）：名 看護師：1名
	保育士：14名 栄養士：2名
	調理師：1名 子育て支援員：1名
施設・設備 の概要	（居室数） 居室：1歳児室 設備：調理室
	居室：2歳児室 設備：安静室
	居室：3歳児室 設備：事務室
	居室：4.5歳児室 設備：子ども用トイレ
	設備：多目的トイレ
	設備：ウッドデッキ

③理念・基本方針

<理念>

未来に向かう「生きる力」を共に育む

<保育方針>

1. 子どもの多様な感情を受け止める
2. 一人ひとりに応じた健やかな育ちに向けて援助する
3. 様々な体験や経験の機会を創る

<保育目標>

1. 基本的な生活習慣を身につけた子ども
2. よく遊び、よく考える子ども
3. 思いやりの気持ちを持つ子ども
4. 自分の気持ちや考えを伝えられる子ども
5. して良いこと、悪いことがわかる子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

〈クレアナーサリー新百合ヶ丘の特徴的な取り組み〉

- 園の自己評価を年1回、他各保育者個人の自己評価を実施し、保育の質の向上に役立っている。
- 社内、社外研修に参加。
- 麻生区の協力のもと、保育者向けの区職員の出張研修を実施。
- 4歳児、5歳児対象にスイミングスクールと業務提携し、希望者がレッスンを受けられる（有料）。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年05月01日（契約日） ～ 2023年08月30日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2018年度）

⑥総評

〈クレアナーサリー新百合ヶ丘の概要〉

●クレアナーサリー新百合ヶ丘は、株式会社アルファコーポレーション（以下、法人という）の経営です。法人は、平成3年4月に設立され、本社は京都市に所在しています。「Something for Tomorrow.」時代“と”次代“を創る、とし、「保育教育」を多方面から捉えた事業展開を図り、首都圏・東海・関西・九州に託児サービスの拠点を伸展し、認可保育所（クレアナーサリー）では、首都圏に3園、神奈川県に3園を運営・実施しています。さらに、行政、法人への子育て支援施設（認可外保育施設、企業主導型保育所等）の開設及び支援サービスも実施する等、未来を見つめた「子育て」トータルサポート企業です。

●クレアナーサリー新百合ヶ丘は、小田急線新百合ヶ丘駅から徒歩7分の位置に立地し、緑の豊かな長閑な雰囲気と、公園等の自然環境も良好に保たれています。また、特急が停車する新百合ヶ丘駅まで歩いて7分の利便性は最大の強みであり、園までのアクセスは商業施設とつながり、駅前コンコース的な範囲内にあり、保護者や子どもにとって通園しやすい場所にあります。淡い色合いの外壁と緑のルーフ付きオープンデッキのある園舎は地域に溶け込み、周辺は自然林を生かした散策道や自然を楽しめる環境が点在しています。また、川崎市麻生スポーツセンターも近くにあり、子どもたちがのびのびと遊べる場所として活用しています。

●クレアナーサリー新百合ヶ丘の保育理念は、法人系列全園で「未来に向かう『生きる力』を共に育む」であり、保育理念に沿ってクレアナーサリー新百合ヶ丘の保育方針、保育目標を策定し、日々実践しています。園の特長として、1. 子どもの安全を第一に考えたセキュリティシステムの構築、2. 日々のオムツ処理に利用者の選択によりサブスクリプション（定額利用）を活用した負担軽減の支援、3. 子どもの食習慣や嗜好を考慮し、心身の健康につなげる手作り給食の提供、等が挙げられます。園児の定員は1歳児～5歳児を対象に60名とし、子ども一人ひとりの個性を大切にした保育を実践しています。

◇特長や今後期待される点

1. 【少人数を生かした園ならではの保育】

クレアナーサリー新百合ヶ丘は、1クラス12名～13名の少人数を生かし、日々子どもたちの意見を聞き・取り入れながら一緒に話し合い、一斉保育に近い体制で保育を進めています。しかし、一斉保育での強制的な要素は全くなく、子どもたちが興味の持てるこ

と等を取り入れ、保育者は子どもたちと満遍なく話し合い、特定の意見に偏ることの無いよう心がけて保育を行っています。この体制は、就学後を見据え、集団生活での順応性を培い、意見を聞く、譲る気持ち等を養い、成長の育みにメリットをもたらせています。保育者は、保育目標に沿って実践し、子ども一人ひとりに寄り添いながら個々の育みに力を入れています。

2. 【保護者に優しい保育園】

クレアナーサリー新百合ヶ丘では、保護者の負担軽減、保護者に優しい保育園運営を心がけています。保護者の負担軽減では、午睡ではコットを採用し、シーツ等の洗濯・布団の乾燥料金を無くし、保護者の持ち帰りはタオル、バスタオル程度としています。また、クレアナーサリー新百合ヶ丘では、今年6月1日より、おむつのサブスクを開始しました。おむつメーカーの協力で2か月間無料で提供したところ、おむつを必要とする殆どの保護者が利用する体制となり、保護者の負担が軽くなるだけでなく、保育者の管理が楽になり、衛生面も含め、双方の好評結果を得ました。子どもの送迎等、必要な物は多いでしょうが、少しでも朝夕の負担を軽減し、快適に通園、園生活が送れるよう、保護者の立場に立った取り組みに努めています。

3. 【さらなる外遊びへの取り組み】

クレアナーサリー新百合ヶ丘は、園庭を有していないため、昨年まで園に隣接したフットサルコート2面の2面を利用し、乳児、幼児に分けて体を動かす場として活用していましたが、現在は麻生区のスポーツセンターを活用し、体育館半分を利用して子どもたちはのびのびと体を動かしています。調査訪問当日は、3歳児も体を動かし、4歳児・5歳児はパラバルーンの活動を行っているの見学しました。体育館周辺は樹木が整備されており散歩にも適しています。しかし、駅周辺の再開発に伴い、隣接のフットサルコートが使用できなくなり、麻生スポーツセンターを使う目途となり、思いっきり体を動かす活動等の頻度は少なくなることを踏まえ、お散歩、公園の利用増加への努力と共に、さらなる開拓を期待しています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 クレアナーサリー新百合ヶ丘

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取り組みの感想》

今回、保育園の運営について振り返る機会として受審いたしました。保護者の皆さまにご協力いただいたアンケート結果では貴重なご意見を把握することができ、必要な課題が見いだせました。また、園内での自己評価項目は内容によっては深く把握していなかったという職員もいましたが、改めて周知・説明をする機会を設けました。

日々の保育を大切に、質の高い保育を継続できるよう努めていきたいと思っております。第三者評価を受審する意味は、そこにあることを実感いたしました。

《評価後取り組んだ事として》

1. 運動あそびを充実させるために麻生スポーツセンターを利用する機会を増やした。
2. 情報共有（送迎時の引き継ぎ含め）の漏れがないよう職員で話し合った。
3. ICT化に関しては、保育者の業務に関して効率的に進められるよう本社のサポートを

得ながら継続していく。

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり